

筍、山ぶき、昆布などで佃煮をつくる(\*\_\*\*)ぬか漬けの古漬け大根で贅沢煮をつくる(^-^)あつあつご飯がたまりません!!(^u^)痩せる気配は全くなし(>\_<)

## 保育所に入れない!

## 年度スタートで84名の待機児

(今年4月23日現在)

「保育所に入れない」という切実な声が次々と寄せられています。年度スタート時からすでに60名の認可保育所に入れない待機児が発生しています。

「上の子は保育所に通っているが、下の子が入れず、仕事をやめざるをえず、上の子まで退所しなければならなくなる」という自営業者もいました。保育所が足りないために、親は仕事を、子どもは保育の場を、奪われていはいはがありません。

### 緊急に保育所の充実を!

東京都町田市では、保育所を建てる地主に手厚い補助をすることで、1年間に6か所もの認可保育所を増設しました。党議員団は「町田市にならって緊急に保育所の増設を」と市長に求め、「ノウハウは勉強したい」という答弁でした。

しかし答弁のなかで「涙ながらに訴える保護者もいる」とあったように、保育所問題は市民にとって切実な問題です。乳幼児期をどう過ごすかという点でも重大です。無認可保育所への支援とともに、保育所増設を緊急におこなうべきです。

### 市長二期目最後の予算

## 「ぬくもり予算」といいながら…毎年「薄皮をはぐ」

政権交代後の初・市長二期目最後の予算は「ぬくもり予算」を強調しています。

しかし、「経費削減・効率化をさらに進める」として、高齢者・障がい者・子どもたちへの予算に「薄皮をはぐ」ような冷たい削減が行われており、市民の暮らしを支える姿勢に欠けています。

保育所の待機児解消・非課税者・高齢者と障がい者への支援など暮らしを守るセーフティネットの確立を求めて引き続き全力を上げていきます。

#### 今年の市民生活への削減の具体例

- 在宅介護をしている非課税世帯への紙おむつ代扶助  
月額5千円→月額4千円に
- 障がい者施設への運営費補助の5年連続削減  
利用者一人あたり月額1万8千円→1万6千円に
- 小中学校の消耗品費・教材用備品などの予算額  
児童・生徒は増えているのに減額

## 市営駐車場をもうけの場にするな

「駐車料金が高い」と不評の市営駐車場の経営は、第3セクターが「指定管理者」となっています。

第3セクターは年間1億円をこえる料金収入から経費を差し引き、残りの一部を市に納付します。平成20年度決算では、料金収入の2割にあたる2700万円が第3セクターのもうけとなっています。

また第3セクターが差し引く経費でも、当初200万円台だった人件費が700万円前後に増えていて、非常に不透明です。

市営駐車場の設置目的はあくまで「駅周辺の路上駐車の防止」であり、第3セクターのもうけの場にするのではなく、バンビオの公共施設利用者や障がい者の無料化などを行うべきです。

## 入札額、市の予定価格と落札率

長七小建て替え工事の入札では、17億6858万円の予定価格に対し、12億5400万円で落札しました（落札率約70%）。建築資材の質は大丈夫か、下請けに無理な負担をさせることにならないか、などを確認した上で契約することに賛成しました。

また、長七小校舎は雨漏りが直らないなど構造上の欠陥ゆえに全面建替えになったのですから、耐震と同時に子ども達にとって最適な教育環境となる工事を求めました。

市がおこなう入札については、今後も入札の過程とともに、設定価格や落札額が適正か、注視する必要があります。

## 自らの計画を守り、市営住宅の増設を

長岡京市は「市営住宅ストック活用計画」を6年前に定め、平成25年までに90戸の公営住宅を増やすことを打ち出していました。

ところが、計画のなかで「建て替え時に20戸ほど増やす」としていた奥海印寺住宅は、土地を売却してしまいました。その後、新たな市営住宅建設の計画は全くされていません。

「自ら立てた計画をほごにするのか。増設の計画を急ぐとともに、当面家賃補助などの対応を」と強く求めました。

## 市は、納税者の声をきく役割を

京都府が強引に市町村に押しつけてきた「税務共同化」で、この4月から市民の税の滞納案件はすべて「京都地方税機構」に移管されることになり、対象は長岡京市で3千件を超えます。しかしその大部分は、生活苦で「払いたくても払えない」ケースです。

市長に対し、「いま分割納付をしている場合は、移管後もそれを尊重し、無理な取り立てはすべきでない」「機構に移管されても、納税相談は市役所でも受けるべき」「機構がどんな対応をしているか、市も把握するべき」と求めました。

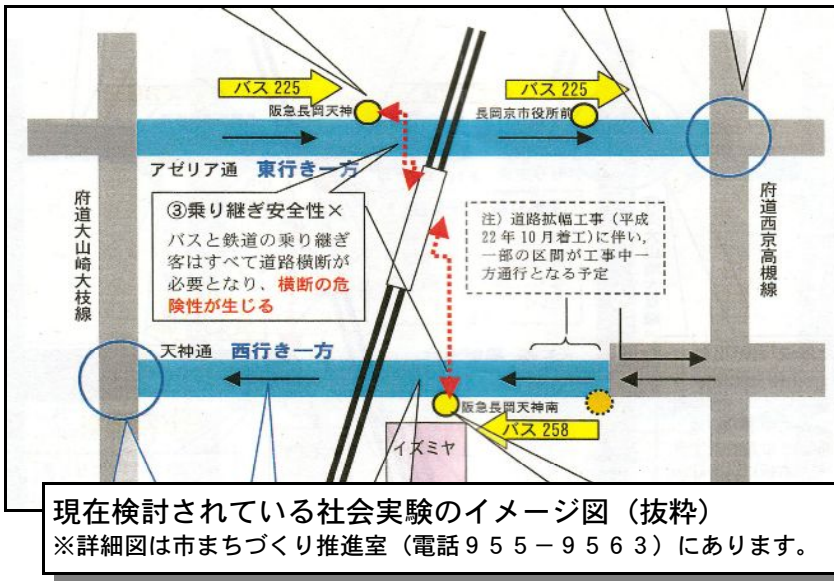
市は「引き続き相談は受ける。本人の事情は十分尊重される。」と答弁しました。

# 今秋 アゼリア通りと天神通りを一方通行化する社会実験

アゼリア通りと天神通りを一方通行化する社会実験（期間は1週間）が、この秋に予定されています（アゼリア通りは東行き、天神通りは西行き）。「バリアフリー基本構想」や「長岡天神駅周辺整備構想」にもとづくものです。

これらの構想は、行政・学識者・関係団体・自治会代表などで構成される「検討委員会」などでつくられてきましたが、まだ「知らない」という声がたくさんあります。

そのもとで今大事にしなければならないのは、地元住民や商店はもちろん、全市民的に声をきき、理解と協力を得ることを前提にすることです。



何のために行うのか、実現すればまちや暮らしがどのように良くなるのかを説明するとともに、不安や不満の声にも誠実に応えることが、実施する主体である市の責任です。

**党議員団にも  
ご意見をぜひ  
お寄せください。**

**「水裁判」不当判決！**

**それでも 水道料金値下げへまた前進**

「住民が使わない水まで、府が市町村に押しつけるのは不当」と大山崎町が京都府を訴えた裁判では、京都地裁が不当な判決を出しました。府の条例で「市（町）は毎年、府に必要な水量を申し込む」と書かれているのに、それを無視して「大山崎町も受益者だから負担は当然」という姿勢です。これでは、府が変更を認めてくれるまで、市町村は何も言えないことになってしまいます。

**府営水道は黒字。値下げは可能です！**

大山崎町の訴えは、府政を動かしました。向日市や精華町の議会が府営水道の「基本水量見直し」を求める決議や意見書を議決し、他の市町からも「基本水量が過大だ」という声が出るようになりました。そして知事の諮問する「府営水道事業経営懇談会」は、「今秋にも、乙訓系の基本料金を1トンあたり4～7円値下げ」という中間報告を出しました。

声をあげることで、確実に政治が動いています。水道料金値下げ実現へ引き続きがんばります。

## 主な議案・意見書に対する各会派の態度

議案・意見書案など	私たちの態度理由	採決	共	平	公	民	ほ
平成22年度一般会計予算	不要の事業を残しながら福祉・教育で削減を行う予算のため	可	×	○	○	○	○
平成22年度国民健康保険特別会計予算 国民健康保険条例の一部改正	最高限度額が引き上げられ年収500万円以上の世帯は保険料が引き上げられるため	可	×	○	○	○	○
平成22年度駐車場特別会計予算	市民に高い料金を負担させ3セクが儲かる仕組みの予算のため	可	×	○	○	○	○
平成22年度後期高齢者医療特別会計予算	75歳以上の保険料が2年ごとに引き上げられる予算のため	可	×	○	○	○	○
平成22年度水道事業会計予算	市民が使わない府営水まで過剰に受け入れる予算であるため	可	×	○	○	○	○
高校授業料無償化に関する意見書	憲法に定めたすべての子どもへの教育の平等を保障するため	否	○	×	○	×	○
子ども手当全額国庫負担を求める意見書	住民増税や地方自治体の負担像とならないよう求めているため	可	○	○	○	×	○
介護保険・公共下水道特別会計予算など23議案、食品表示制度の抜本改正を求める請願、介護制度の基盤整備を求める意見書、子ども読書推進予算確保を求める意見書など5つの意見書案		可	○	○	○	○	○

表中、共：共産党、平：平成3クラブ、公：公明党、民：民主フォーラム、ほ：ほうれんそうの会

### 意見書案への討論

今議会、6件の意見書が議員提案され、「高校無償化」に関する意見書と「子ども手当の全額国庫負担を求める意見書」以外は全議員の賛成で採択されました。

「高校無償化に関する意見書」では、平成三会派の代表議員が、「朝鮮学校」の除外は「差別」ではなく「区別」だとして、民主フォーラムとともに反対したため否決になりました。

また、「子ども手当」の意見書は、民主フォーラムが、「国会において審議が不十分なまま法案が可決されたとの表現は不適切」として反対をしました。日本共産党は、手当てに要する財源の一部を使ってでも保育所を大幅に増やすなど、総合的な子育て支援を提案しています。

暮らしの相談ごと、  
あなたのご意見を  
お寄せください。

党議員団(直通)

電話955-9551 FAX955-9741

e-mail [jcp-n@eto.eonet.ne.jp](mailto:jcp-n@eto.eonet.ne.jp)

議員団ホームページ  
随時更新中!

日本共産党長岡京市会議員団

検索

よろしければおきかせください。

お名前

ご住所

お電話